

# チャペルへ行こう！

嶺 重 淑

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、これから始まるうとする学生生活に大きな希望（そして多少の不安も？）をもっていることと思います。大学に入ったら、こんなことをしてみたい、あんなこともしてみたい。希望にみちたキャンパスライフを思い描きながら、受験勉強にいそしんできた人もいることでしょう。あるいは希望する大学に入れなくて、複雑な思いで今の時期を過ごしている人もいるかもしれません。いずれにしても、悔いのない、充実した学生生活を送っていただきたいと思います。

そして、充実した学生生活を送るためにも、勉学であれ、サークルその他の活動であれ、自分が今一番関心をもっていることに打ち込み、今しかできないことにチャレンジしてみてください。それとともに、皆さんはこうしてキリスト教をバックボーンとする大学に入学されたわけですから、そのような特色をもった学校との出会いをぜひ大切にしてほしいと思います。

さて、ここでしか出会えないものの一つにチャペルアワーがあります。関西学院には大学の各学部、大学院、高等部、中学部、そして大阪梅田キャンパスにもチャペル（礼拝堂）があり、学期期間中はそれぞれの場所で、毎週決まった時間にチャペルアワーがもたれています。日本にも数多くのミッションスクールがありますが、これだけチャペルを重視している学校はどこにもありません。

通常のチャペルでは、讃美歌を歌い、聖書を読み、祈りがなされ、講師によるメッセージを聴きます（詳しくは「Silence～チャペルとの出会い～」を参照）。でも堅苦しく考える必要はありません。実際、チャペルに参加している人の大半はクリスチャンではありません。むしろ、授業のあい間にしばし心を落ち着け、静かに自分を見つめ直す時間だと考えてください。そして、そのような時間をもつことによって、普段はなかなか見えてこない新しい発見があったり、自分の生き方について貴重な示唆を与えられたりするのです。今までキリスト教とは何の接点もなかったという人も、どうぞ一度、チャペルをのぞいてみてください。

（神学部准教授）